学校番号	320

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	（学）国語実践演習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	三訂新版　共通テスト対策国語完答３２　（尚文出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・大学入試共通テストや記述問題に対応する能力を身につけていきましょう。
・様々な文章の「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けましょう。
・より発展的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・漢字をはじめとする基礎的語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けて応用力をつけましょう。
・予習として必ず本文を読み、意味の分からない語句は辞書で調べておきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
教材の選択に際しては、大学入試共通テストに対応できるものを使用し、知識として語彙を増やし、正確な漢字の読みと書き取りの力も同時につけていく。
【思考力、判断力、表現力等】
出題文章に合わせて、客観的な捉え方や自分の思考を深めて発展させていくことを目指す。
【学びに向かう力】
様々な問題を解くにあたって速読のトレーニングを行うことで、考察時間確保や速く正しく読む力を身につけ、選択肢の正誤を正確に判断できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	語彙力をつけ、文法や修辞法などを深く学び、文章の種類・特徴を理解している。情報の扱い方や言葉の特徴、使い方を理解している。	入試問題や共通テストなどの問題そのものを評価したり、また、他の問題と異なる部分を考えさせたりする。「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	文体を考察し、解釈を深めるとともに解釈の多様性についても考察しながら、言葉がもつ価値への認識を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	論理的文章・文学的文章・古文 ［教材］ 第一回①論理・実用 ②文学・随想・俳句） ③古文 第二回①評論（社会学） ②文学（戯曲） ③古文	a：常用漢字の読みに慣れ、書くことにも取り組んでいる。 文章の組み立てや接続の仕方を理解している。 文章の構成や展開を確かめ、考察しようとしている b：［ 書 ］内容や構成を理解している。 自分の意見、考えが文章としてまとまっている。 ［ 読 ］速読において、速く正しく文章を読む力を身につけている。 c：苦手な問題傾向の考察に取り組んでいる。 対策学習ができている。 計画性をもって単元ごとの取り組みができている。	小テスト	ワークシート	考察
二学期	論理的文章・文学的文章・古文 ［教材］ 第三回①評論（日常生活） 評論（芸術） ②小説（現代と明治期の若者） ③古文（紀行文） 論理的文章・文学的文章・ ［教材］ 第四回①評論＋実用文書 ②文学（詩） 文学（鑑賞文） 文学（詩論） 第五回①評論（現代・学問）	a：常用漢字の読みに慣れ、書くことにも取り組んでいる。 文章の組み立てや接続の仕方を理解している。 文章の構成や展開を確かめ、考察しようとしている b：［ 書 ］内容や構成を理解している。 自分の意見、考えが文章としてまとまっている。 ［ 読 ］速読において、速く正しく文章を読む力を身につけている。 c：苦手な問題傾向の考察に取り組んでいる。 対策学習ができている。 計画性をもって単元ごとの取り組みができている。	問題演習 小テスト	問題演習 ワークシート	考察 考察
三学期	論理的文章・文学的文章 ［教材］ 第六回～八回 評論・文学・随筆（古文） 個々に必要とするジャンルを解き進める	a：常用漢字の読みに慣れ、書くことにも取り組んでいる。 文章の組み立てや接続の仕方を理解している。 文章の構成や展開を確かめ、考察しようとしている b：［ 書 ］内容や構成を理解している。 自分の意見、考えが文章としてまとまっている。 ［ 読 ］速読において、速く正しく文章を読む力を身につけている。	問題演習	問題演習	考察

		c:苦手な問題傾向の考察に取り組んでいる。 対策学習ができている。 計画性をもって単元ごとの取り組みができている。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　　…　（　１０～１２　）時間

・読むこと　　…　（　１８～２５　）時間